

# ステップ・バイ・ステップ

## —子どもの成長・親の成長—

### 【プログラムのねらい】

子どもの成長は日々着実に進んでいます。しかし、毎日の生活に追われ、実感として成長を感じられずに、親の方が悩んだり、泣きたくなったりすることもあります。子どもの成長は一人一人違いますが、どの子どもの成長もみな輝いているはずです。今日は、わが子の成長、親の成長について学習します。

### 【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介をします。</li> <li>○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。</li> <li>○自己紹介やゲームを行い、明るく活動的な雰囲気づくりをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく元気な話し方を心がけます。</li> <li>○プログラムのねらいと体験活動しながら主体的に学ぶことができる参加型のプログラムであることを伝えます。</li> <li>○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。</li> <li>○ゲームなど終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。</li> <li>○1グループ5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）とします。</li> <li>○導入で時間を取りすぎると展開やまとめで時間がなくなるのであらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎まずは、「ワーク1」の次のエピソード1、2を読んで考えていきましょう。メモに書いてみましょう。その時の気持ちも書いてみましょう。</li> <li>◎ここからは「ワーク2」グループで話し合ってみましょう。エピソード1あるいは2のような悩みを経験したことがありますか。グループで話し合ってみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実際に体験している（したことのある）人は、その時のことを思い起こして、書くように伝えます。</li> <li>○答えに「正しい」、「間違っている」ということはないので、考えたことを積極的に発表してほしいこと、また、お互いの発表を共感的にとらえるようにしてほしいことを話します。</li> <li>○各グループを回り、意見交換の様子や出されている意見の内容について把握しておきます。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表を聞いて、子育てのヒントをつかむように話します。</li> <li>○プログラム集P68の資料「子どもの自己主張は成長のしるし」を参考にして話し合うように助言します。</li> <li>○話し合いの中から自分（の家庭）なりの子育てのヒントが見つければよいことを話します。</li> </ul>
<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎今日の学習のまとめをしましょう。</li> <li>○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり)</li> <li>○発表してもらいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。</li> <li>○あらかじめ数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。</li> <li>○感想を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。</li> <li>○成長には個性があることから、「わが子のオリジナルな成長」を温かく見守ることの大切さを強調するとともに、子どもとのかかわりの中で、親も少しずつ成長していることを話しまとめます。</li> </ul>

※ 設定時間が短い場合には、ワーク1を中心に流れを考えるようにします。

